



2025年度 重点活動計画

一般社団法人 日本知的財産協会
2025年5月30日





会員状況

会員数

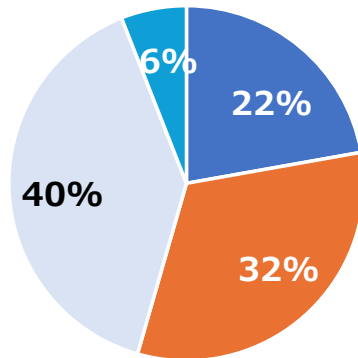
2025年4月1日時点

正会員： **1, 008**

賛助会員： **381**

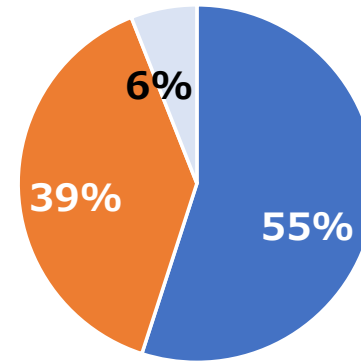
合計： **1, 389**

会員企業の業種別の比率



■ 金属機械 ■ 電機サービス ■ 化学 ■ 建設

会員企業の企業規模の比率



■ 大企業 ■ 中堅企業 ■ 中小企業

2023年度 実態調査のデータからの概算値

大企業(2001名以上)
中堅企業(301~2000名)
中小企業(300名以下)

正会員が1,000社を超え、多様な会員構成(異なる業種、異なる企業規模)となったJIPAが、今後も持続可能な組織とするために、何が必要かを検討し、2025年度の活動方針を策定しました



基本方針

JIPAスローガン

『Creating IP Vision for the World』

JIPA基本方針

1. JIPA活動の実効性を高め、会員企業の経営に寄与する

- 「会員企業の経営に寄与する」ため、経営視点・事業視点を強く意識し活動する
- 国内外を含めた知財関係団体との連携を強化する

2. ガバナンスの向上を図り、組織としての基盤を強化する

- 約1,400の会員が集うJIPAが、持続可能な組織であるために、ガバナンスの向上を図り、強固な基盤を構築する

3. 会員満足度の向上を図る

- 多様化する会員ニーズを的確に把握し、様々な施策や企画に反映させる
- 多様なバックグラウンドを持つ企業が集っていただくように、JIPAの認知度を高める

■ 意識すべき視点（2つの「G」と2つの「D」）
「Global」、「Green」、「Digital」、「Diversity」



～Creating IP Vision for the World～



基本方針に基づいた重点課題と主要な取り組み

2025年度、次の事項を重点課題と位置付けて主要な取り組みを展開します

JIPA活動の実効性を高め、会員企業の経営に寄与する

- ① 専門委員会、WG、業種別部会、地区協議会、研究会などの活動の活性化・実効性の向上
- ② 国内外の知財関連機関・団体との連携強化
- ③ 日本の大学との連携強化（産学共創の強化）
- ④ 日本の中堅・中小企業、スタートアップとの連携強化
- ⑤ 地方創生に向けた地方会員の増加
- ⑥ 会員内の交流の充実化





基本方針に基づいた重点課題と主要な取り組み

2025年度、次の事項を重点課題と位置付けて主要な取り組みを展開します

ガバナンスの向上を図り、組織としての基盤を強化する

- ① 各コミュニティにおける活動目的、ミッション等を明確化（会務運営規程の見直し）
- ② 適正な財務基盤の定義付け及びその構築



基本方針に基づいた重点課題と主要な取り組み

2025年度、次の事項を重点課題と位置付けて主要な取り組みを展開します

会員満足度の向上を図る

- ① 教育・研修の充実・強化
- ② 会誌広報のあり方の再検討
- ③ 会員へ情報発信・広報活動の強化
- ④ 多様化する会員ニーズを的確に把握する（隔年実施の「実態調査」を活用）
- ⑤ 賛助会員の参画機会の拡大、入会メリットの検討



JIPA活動の実効性を高め、会員企業の経営に寄与する



~Creating IP Vision for the World~



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(活動の活性化)

会員企業における経営に寄与するために、全ての活動において、経営視点をより強く意識して取り組んでいき、より活動を活性化し、その実効性を高めていきたいと思ひます。

- AI、SDGs等高度化する技術分野、ブランド、デザイン、データ活用、標準化、模倣品対策等多様化する課題に関して、多角的、グローバルな視点で活動を展開
- 会員相互間の交流の機会を増やし、ネットワーク力を高めていくことで、会員企業の経営に寄与

専門委員会

- 人材育成、• 会誌広報
- 特許1・2、• 国際1・2・3・4
- ライフサイエンス、• ソフトウェア
- 著作権、• マネジメント1・2
- 情報システム、• 情報活用
- ライセンス1・2、• 意匠
- 商標、• フェアトレード

WG

- SDGs
- オープンイノベーション
- 第四次産業革命
- デジタル政策
- 国際政策
- グローバル模倣品対策
- 有識者連携
- 日中企業連携
- JIPA知財シンポジウム
- DE&I Society

業種別部会

- 関東業種別部会※
- 関西業種別部会※
(※金属機械、電機サービス、化学)
- 建設部会

その他

- 中国・四国・九州地区協議会
- 東海地区協議会
- 少数知財研究会(関東、関西、東海)
- 知財問題研究会(関東、関西)
- サービス産業研究会

SANMON PJ



~Creating IP Vision for the World~

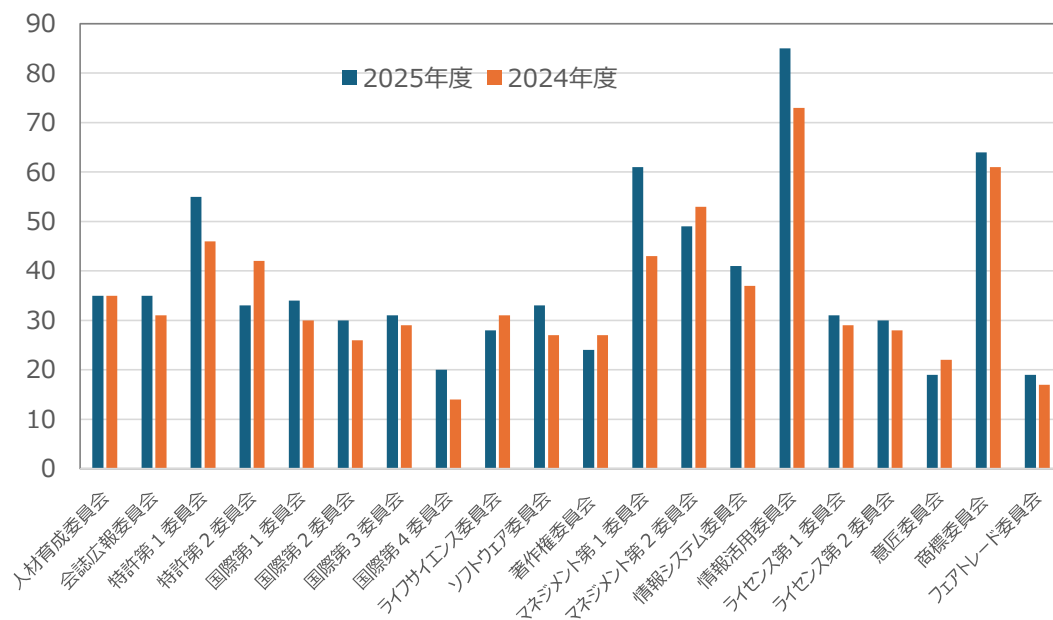


重点課題の解決に向けた主要な取り組み(専門委員会活動)

専門委員会のメンバー数、派遣している会員数

委員会	2025	2024	増減	前年度比	賛助会員
人材育成委員会	35	35	0	100%	4
会誌広報委員会	35	31	4	113%	5
特許第1委員会	55	46	9	120%	
特許第2委員会	33	42	▲9	79%	
国際第1委員会	34	30	4	113%	
国際第2委員会	30	26	4	115%	4
国際第3委員会	31	29	2	107%	6
国際第4委員会	20	14	6	143%	
ライフサイエンス委員会	28	31	▲3	90%	2
ソフトウェア委員会	33	27	6	122%	4
著作権委員会	24	27	▲3	89%	
マネジメント第1委員会	61	43	18	142%	
マネジメント第2委員会	49	53	▲4	92%	
情報システム委員会	41	37	4	111%	
情報活用委員会	85	73	12	116%	7
ライセンス第1委員会	31	29	2	107%	1
ライセンス第2委員会	30	28	2	107%	1
意匠委員会	19	22	▲3	86%	
商標委員会	64	61	3	105%	
フェアトレード委員会	19	17	2	112%	
合計	757	701	56	108%	34

委員会のメンバー数、メンバーを派遣している会員数も着実に増加、より活動が活性化することを期待します



委員会にメンバーを派遣している会員数
正会員:270、 賛助会員:25



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(WG活動)

政策関係

デジタル政策

- ・コンテンツ政策全般の政策分析・提言
- ・Frontier Technologiesと知的財産の政策分析・提言

知財法制度

有識者連携

- ・**特許政策**: AI、ネットワーク関連発明等グローバル化対応、イノベーション拠点税制等のあり方検討、意見発信等
- ・**データ戦略**: 国内外データ法制や関連法案への政策提言、関係団体との連携強化等

知財法制度

- ・**SEPの未来**: 「未来のSEPのあり方」、「サプライチェーン上のライセンス対価負担」等検討

国際標準

第四次産業革命

- ・国際標準化活動に関わる課題を議論し、国内への普及啓発、政府/関係省庁への意見発信

国際標準

グローバル模倣品対策

- ・模倣品、海賊版対策により知財権の保護推進
- ・各国関係機関への訪問及び意見交換(使いやすい模倣品対策制度の実現)

国際

国際政策

- ・三極及び五極ユーザと連携し、三極、五庁長官ユーザ会合等に参加し意見発信
- ・会員企業にとって実利ある制度調和に向けた提案
- ・GIDについてユーザニーズ等のフィードバックや提案

国際

その他

JIPA知財シンポジウム

シンポジウムの企画立案

企画

SDGs

- ・環境関連技術のパッケージ化の調査研究
- ・大阪・関西万博での国際フォーラム参加
- ・マッチングの仲介

WIPO等

オープンイノベーション

- ・企業間連携: 知財部員がどのように積極的に関与できるかを引き続き議論
- ・ベンチャー/スタートアップとの連携: 交流、議論ができるプラットフォーム環境を整え、新しい価値創造を促進
- ・産学連携: 日本版UIDP構想の実現に向けた計画検討

大学、suiP等

日中企業連携

- ・北京、上海、広東省にある企業との知財活動での共通課題等の議論を通じ、日中企業連携を深化

PPAC、GDIPS等

DE&I

- ・「多様性」の幅を広げた取り組み強化
- ・JPO・JPAA・JIPA一体での取り組み継続
- ・情報発信の強化

JPO、JPAA等



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(連携強化)

下記の関係団体とは、意見交換等を継続的に実施し、更なる連携の強化を図っていきます

国内外知的関連機関・団体

- 特許庁
- 内閣府知的財産戦略推事務局
- 日本弁理士会
- 日本弁護士連合会
- 知的財産高等裁判所
- INPIT
- 発明協会・発明推進協会
- USPTO、EPO
- WIPO

- 関係強化(顔の見える関係性の構築)

大学・研究機関

- 大学(北海道大学、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学等)
- 研究機関(JST、理化学研究所 等)

- 産学連携・共創の強化
- 学生向けのセミナー開催等のアプローチを通じた関係構築



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(中小・地方創生)

中小企業・スタートアップを対象とした知財経営支援ネットワークにJIPAも参画します
このネットワークを通じて、日本の中小企業・スタートアップ、更には地方団体との連携を模索していきます

中企庁を加えた知財経営支援ネットワーク（概要）

- 令和5年3月より、特許庁、日本弁理士会、独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）、日本商工会議所が連携した「**知財経営支援ネットワーク**」を構築。令和6年12月には当該ネットワークに**中小企業庁**も加わり、ネットワークを拡充したところ。
- **中小企業庁**が加わったことにより、**よろず支援拠点**と**INPIT知財総合支援窓口**の連携強化、**知財Gメン**との連携強化等を実施。より広く知財取引の実態を把握するとともに、中小企業や支援機関等の「知財経営リテラシー」の向上と、中小企業等が抱える経営相談等に対して知財の観点から、より効率的な支援を実施可能に。



～Creating IP Vision for the



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(会員内の交流)

会員間の交流によるネットワークの構築のニーズが高まっている状況を踏まえ、今年度も下記のイベントを実施します

より多くの会員の皆さんのニーズにあった企画になるよう、テーマを工夫していきたいと思っていますので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いします

「会員代表(知財部門長)の集い」

- ・ 開催日: 2025年9月2日(火) 13:00~17:00
- ・ 場 所: (東京) 野村コンファレンス日本橋
(大阪) OMM会議室

「中小規模知財部門担当者向けミニシンポジウム」

- ・ 開催日: 2025年11月27日(木) 13:00~17:00
- ・ 場 所: 飯田橋レインボービル

「JIPA知財シンポジウム」

- ・ 開催日: 2026年1月29日(木) 10:00~17:30
- ・ 場 所: 東京国際フォーラム



ガバナンスの向上を図り、組織としての基盤を強化する



～Creating IP Vision for the World～



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(ガバナンスの向上)

ガバナンスの向上を図るため、各コミュニティにおける活動目的・ミッション等を明確化、更には適正な財政基盤を定義付けし、構築していきます

JIPA組織基盤の強化

各コミュニティにおける活動の目的、ミッション・役割、構成メンバーの属性、選任方法、任期、活動成果の会員へのフィードバックの仕方等を検討

会務運営規程の見直し

JIPA財政基盤の強化

中長期的に見た収支バランスや正味財産のレベルについて、JIPAとしての定義付け、コンセンサスの形成

ロードマップの作成





会員満足度の向上を図る



~Creating IP Vision for the World~



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(教育・研修)

研修の進化と安定運営 「研修形態の変革（集合⇒オンライン）」に対応し、安定した収益確保し、さらに未来を見据えた研修システム＆研修カリキュラムを再構築していきます

・定例コースの刷新
(2027年度に向けて)

安定した
受講者数・
研修収益
確保

●2025年度 目標受講者数 15,000名

研修の
進化

・非知財・スタートアップ向け
研修の充実化

新たな
挑戦

・ビジネス・技術リテラシー研修
の企画と実施
・研修コンシェルジュサービス検討

行動変容！

人材育成Gr

人材育成
Grメンバーの
チーム力UP

・メンバー増に対応し、
更なる連携強化
(コミュニケーションUP)

研修システム
再構築

・研修形態の変更
(集合⇒オンライン研修)
に伴う新システム再構築
(2027年度稼働に向けて)

研修運営・
サポートスタッフ
の分業化



~Creating IP Vision for the World~



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(会誌広報)

下記の4つの視点を念頭に、今後の会誌広報のあり方(主に「知財管理」、「季刊じば」)を考えていくことにしました

(検討すべき4つの視点)

- ・変えるべきもの
- ・変えてもよいもの
- ・変えなくてもよいもの
- ・変えてはならないもの



- ・「知財管理」の歴史・伝統・認知度の視点で検討を進め、質を維持・向上する形で目指す方向性を検討
- ・「季刊じば」の広報の視点から目的・ターゲットから再検討し、コンテンツの内容を詰める

→ 会員の皆様の声も聞きながら(アンケートの依頼)、会員の満足度を高めていただける方向を見出していきたい



~Creating IP Vision for the World~



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(情報発信・広報)

JIPA HP 全面リニューアル

(目的)

対内向け広報に重点を置き会員向けコンテンツを充実させJIPA活動に参加するメンバーの利便性、満足度向上を図る

(HPのリニューアルの内容)

大きなカテゴリを以下の6つに再編する

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1.日本知的財産協会について | JIPA概要、入会について |
| 2.コミュニティ | 委員会・WG・研究会活動等、部会、国際活動 |
| 3.情報発信 | 会誌、意見発信 |
| 4.研修 | 研修関連全般 |
| 5.お知らせ | 最新情報、 |
| 6.その他 | FAQ、問い合わせ等 |

コンテンツの構成、運用体制を柔軟にし、よりタイムリーな更新ができるよう検討中

(スケジュール)

2026年4月 稼働予定



~Creating IP Vision for the World~



重点課題の解決に向けた主要な取り組み(その他)

実態調査

隔年で実施している「実態調査」にて定点観測の観点からこれまでの設問を継続し、更には会員のニーズの把握に必要な項目を追加し実施予定

→ 会員の皆様にアンケートを取得させていただきますので、ご協力お願いいたします。

賛助会員の参画機会の拡大

- 一部の委員会には賛助会員が参画(計9委員会、34メンバーが参加)
- 2025年度から賛助会員にも東西部会への参画機会を拡大
- 海外賛助会員によるミニセミナーの実施を企画

以 上

